

どの子ども伸びる 学びの九段小



行幸啓

<目指す学校像> ◎重点項目

- ・子ども一人一人が安心安全に過ごす学校
- ・子ども一人一人が学力と体力を身に付ける学校
- ・地域と保護者から信頼される学校
- ◎組織の力で課題解決を図る学校
- ・教職員が互いに学びあい、高めあう学校

<目指す子ども像> ◎重点項目

- ◎自ら学び、考え、判断し、表現できる子
- ・友達と関わりながら学ぶ子
- ・自他の生命を尊重し、思いやりのある子
- ・進んで運動し、健康に親しむことができる子
- ・学校や地域を愛し、他者と豊かに関わる子

<目指す教師像> ◎重点項目

- ・公教育を担う教師の誇りと自覚、研ぎ澄まされた人権感覚を有する教師
- ・愛情と熱意にあふれ、常に児童理解に努める教師
- ◎高い専門性と豊かな人間性を備え、学び続ける教師



卒業式

教育目標： ◎ 進んで学ぶ子 仲よく 助け合う子 心も体もたくましい子

進んで学ぶ子

- ◎分かる喜びとできる楽しさを実感する学び
 - ・質の高い学びの構築と新九段スタイルの実践 (目標達成に向けた授業づくりとPDCAサイクルの徹底)
 - ・思考力・判断力・表現力の向上を重視した授業
 - ・教科横断的で探究型の学習を推進 (グローバル人材の育成)
- ◎対話的・主体的で深い学びに向けた授業改善
 - ・安心して学習に取り組む学習集団の形成
 - ・教科担任制の導入と成果の検証
 - ・人的支援を活用した指導の工夫 (区講師、都講師、ALTの活用)
 - ・個別最適な学びとタブレットを効果的に利活用した学習活動

仲よく 助け合う子

- ◎安心安全な居場所づくり
 - ・学びのスタンダードの理解と確実な指導 (授業で「安心して発表できる」人間関係の構築) 交流
 - ・フレンズ班の充実と保幼小中との連携と (望ましい人間関係の構築・自己有用感と自己肯定感の向上) 効果的利用)
 - ・特別活動の充実 (キャリアパスポートの)
- ◎豊かな人間関係の醸成
 - ・「他の人も自分も大切に」命と心の 教育推進
 - ・地域の教育資源と人材活用「ちよだ楽」 (地域学校協働、大学や企業との連携、 地域学習、体験交流等)
- ◎いじめをしない・させない・ゆるさない
 - ・差別と偏見を許さない一貫した指導
 - ・いじめの未然防止と早期発見、早期対応
- ◎情報モラル教育の推進
 - ・学校・家庭でのSNSモラルの確立と 実践
 - ・SOSの出し方指導
 - ・のびのびルームの利用

心も体もたくましい子

- ◎運動に親しみ運動を楽しむ活動と授業
 - ・「分かる」「できる」「楽しい」体育科指導の授業改善
 - ・コーディネーショントレーニングの継続的な取組
 - ・体力テストの実施と結果の活用 (投力の向上に重点)
- ◎体育健康教育の推進
 - ・体力向上の取組・薬物乱用防止教室・食育の推進
 - ・熱中症対策・外部講師によるがん教育の推進
 - ・生活リズムチェックカードの実施と健康行動への自立
- ◎危機の予測と危機回避能力の育成
 - ・防災教育と安全教育の推進
 - ・感染症に関する正しい理解と実践

特別支援教育の充実

- ◎誰もが「分かる」「できる」「楽しい」と実感
 - ・困り感の解消と合理的配慮、指導方法等の理解啓発
 - ・保護者、関係諸機関との連携・校内委員会の充実
 - ・教育支援シートの活用と適宜見直し。通知表の作成。
- ◎特別支援教室での指導の充実
 - ・一人一人の特性や発達課題に応じた指導の充実
 - ・個別指導と小集団指導の効果的活用

組織の力で問題 解決を図る学校
 地域を支える 人づくりと
 地域と ともに歩む学校
 働き方改革3S (Slim/ Sharp/ Smile) と
 カリキュラム マネジメントの推進

グローバル人材育成と 特色ある教育活動の推進

- ◎意図的、計画的な交流を通じた異文化理解と自国のよさの再認識
 - ・俳句学習の推進 (季節ごとの俳句づくりと句会の開催)
 - ・英語を用いたコミュニケーション能力の育成 (TGG)
 - ・山王祭の歴史と取組、ピオトープなど環境教育の充実
 - ・アスリートとの交流 (キッズアスレティックス・投げ方教室など)

New Kudan style

「学びに向かう力」と「考え」「広げ」「深める」
授業づくりのために5つのstyleを実践しています。

Style 1

学習の進め方

学習の過程をとおして
自分の考えを深めていく。

課題把握

つかむ

学習のめあての理解し
学習の見通しを立てる。

自力 解決

考える

資料を見たり調べたりし
て、自分の考えをもつ。

検討

広げる

クラスのみんと学ば
合う。

評価

まとめる

分かったことをまとめる
考えの変容に気付く。



Style 2

板書

45分間の思考の過程がわかる板書計画を
たて、子どもの「考える」「広げる」を促す。

つかむ

めあて

本時の学習を端的に表すめあて
を設定し、板書する。
(キーワードには波線を引くなど
としてめあてを明確にする)

問題

学習問題を提示する。

考える

やり方

自力解決を図るため、資料の
調べ方や一人で考えるための
手だてを提示する。

広げる

みんなで話し合う

子供たちの考えを提示する際
には、ミニホワイトボードや
タブレット等によるノートの
提示を活用する。

まとめる

わかったこと まとめ

本時の学習に対するまとめを
板書する。

たしかめ問題

類題を出し、めあてへの理解を
確認する。

学習の感想

- ・話し合いで考えたこと
- ・学習に生かしたいこと
- ・友達のよかったところ
- ・自分の考えが変わったところ



Style 3

相互交流

検討場面では、3つの相互交流を
意識的に使い分ける。

Style A



ペアで話し合い

考えたことをさっとペア
で話し合うことで、短時間
で考えを交流する。

Style B



グループでの話し合い

様々な考えを伝え合うこと
で自分の考えを広げたり
深めたりする。

Style C



全体での話し合い

個人やグループの考えを
全体に広げることで学び
を共有する。

Style 4

ノート

見開き2ページを基本とし、
「問題解決の過程や振り返り」が
わかるようにする。

ノートの取り方

日付
めあて
学習の見通しを立てるめあてを
書き、色線で囲む。
学習課題
「解決方法」として、自分の
考えを発表から気付いたり分
かったことを書き込んでいく。
まとも
・本時のめあてやに対する答え
や分かったことを書く。
学習の感想
・本時を振り返るために、学習
の感想を書く。

つかむ → 考える → 広げる → まとめる

★ノート作成のお約束

色分けは赤青鉛筆で 枠囲みや線は定規で

Style 5

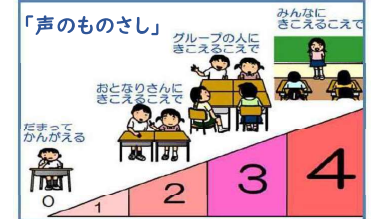
意欲的に学ぶための学びのスタンダード

学校で

- 授業の始めと終わりにあいさつをします
- よい姿勢で座ります
- 「声のものさし」に合わせた大きさで話をします
- 最後まで静かに話を聴きます
- 字をていねいに書きます
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします

家庭で

- 必要な学習用具は前日までに用意します
- 宿題や家庭学習に取り組みます



意欲的主体的に学ぶためのスタンダード
確実に身につけさせたい学習習慣の根幹となるもの